

医療安全への取り組み セーフティマネージャー部会の活動

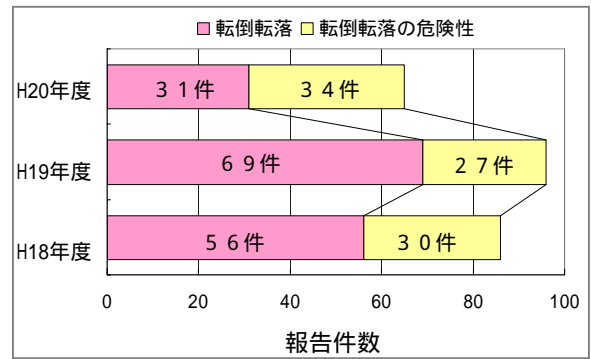
患者さんの人権の尊重と尊厳の維持、QOLの向上を達成するには、患者さんの安全確保が最重要課題となります。当院では、入院当日に、転倒・転落アセスメント、身体拘束アセスメント、褥瘡の危険度判定、介助骨折の危険度判定を行い、その結果を看護・介護サービス計画に反映させています。

アセスメントの際は、病棟職員だけでなく、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士などの職種も参加し、様々な側面から観察、評価を行い、安全な療養生活の提供に努めています。

当院は開院当初より、セーフティマネージャー部会が中心となり、インシデント・アクシデントレポートを基に医療安全に取り組んでいます。

19年度に「転倒・転落」の報告件数が約60件に達し、防止対策を周知徹底することにより、20年度には発生件数を31件に減らすことができました。右の表は、18年度から20年度に報告されたレポートデータを基に、転倒転落及び転倒転落の危険性の報告件数について比較したグラフです。

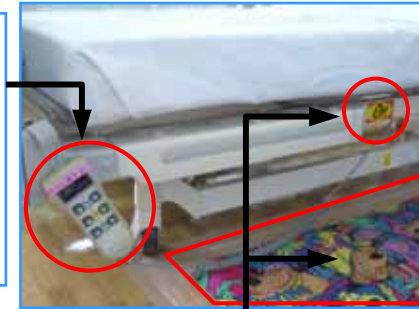
当院では、床に倒れていた場合、転倒・転落として報告され、見守りや介助が必要な患者さんが、ベッドに腰掛けていた場合や、ひとりで廊下まで出て来られた場合の報告は、転倒転落の危険性として報告されます。



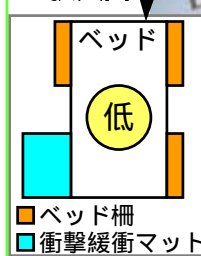
転倒・転落防止対策について

ベッドコントローラー

認知レベルの低下している患者さんには、誤操作防止のため、手の届かない位置に設置しています。ベッドコントローラー本体に「手元に置かないで」のシールを貼って職員に注意を促しています。



拡大図



離床お知らせセンサー

電源ON - OFFカードを表示することで、電源のON - OFFを適切に管理します。

起立お知らせセンサー

車椅子から立ち上がった場合など、紐が引っ張られ、警告メロディが鳴ります。

転倒転落アセスメントから得られた結果より、**ベッド柵及び低床の有無に関する表示**を作成し、各患者さんのベッドサイドに掲示しています。これにより、リネン交換や離床介助の為にベッド柵を移動したり、ベッドの高さを変えたりした場合など、援助終了後に全職員が患者さんにとって安全なベッド環境を整えることができます。

その他の対策について

酸素吸入トラブル防止対策、患者誤認防止対策、車椅子使用時の外傷防止対策、褥瘡予防対策などにも取り組んでいます。また、職員に対する教育用ビデオを自主制作し、研修会や自己学習に利用することで、職員に手技や手順を周知徹底しています。また、セーフティマネージャー部会が、定期的に医療安全パトロールを行い、適切な指導を実施しています。その他の対策については、第17回日本慢性期医療学会(平成21年度開催)において発表した、医療安全への取り組み内容(当院ホームページ又は1階エントランスホール掲示パネル)をご覧ください。

第17回日本慢性期医療学会・浜松大会に参加

6月25日(木)、26日(金)静岡県浜松市にあるアクトシティ浜松において、第17回日本慢性期医療学会・浜松大会が開催され、当院は、ターミナルケア部門の一般演題において、『終末期ケアへの取り組み～患者家族と職員の思いの比較～』(右上写真)と医療安全部門のパネル演題において『医療安全への取り組み～インシデント報告に基づく対策～』(右下写真)と題し発表しました。



14歳の挑戦！！

福野中学校の2年生6名が、7月6日(月)から、5日間、当院にて「14歳の挑戦」に取り組みました。看護や介護の仕事について説明を受け、入院患者さんや通所リハビリテーションの利用者さんの移動、食事の手助けなどをし、レクリエーションに参加しました。



生徒さんたちからは、「高齢の方とお話をすることがこれまで無かったけれど、昔のことなどが話聞いて楽しかったです。」「自分から積極的に動けたのは少しだけだったので、『これして下さい』と言われる前に行動できるようにになりたいです。」などの感想がありました。

七夕まつり

7月8日(水)2階と3階食堂ホールにて七夕まつりを開催し、当日は、ボランティアの『ともしび会』の皆さんが、慰問に訪れてくださいました。「麦屋節」「柔」などの歌や、「隠岐相撲甚句」「きよしのズンドコ節」のメロディーにあわせた踊りを披露してくださいました。



夏休みの宿題

当院に勤務している職員の中学1年生の子供さん2名が、夏休みの宿題『親しい人の職場見学』と題し、当院へ見学に訪れました。子供さんたちは、院内見学、看護及び介護の仕事について説明を受け、熱心にメモを取っていました。職場見学を通し、ご両親の仕事について少しでも理解していただければ幸いです。



介護の道へ！高校生の介護実習！1回目

9月7日(月)から4日間、井波高校福祉科2年の生徒さん4名が、1回目の介護実習に取り組みました。生徒さんたちからは、入院患者さんと接する緊張感、授業で習ったことを患者さんに対し実践する難しさが伝わってきました。

10月19日(月)から、2回目の介護実習に取り組みれます。今回の実習で見つかった反省点などを改善し、目的や目標を達成できるよう頑張ってください。



オープンホスピタル2009

7月12日(日)1階エントランスホールと通所リハビリテーション室で、オープンホスピタルを開催しました。『口から食べる、だから美味しい、だから元気』と題し、ゆかいな寸劇で、口腔ケアについて学んでいただく介護者教室を実施しました。寸劇のメンバーは、職員の知り合いの方がボランティアで参加して下さり、劇を見られた方から、好評を博していました。



その他に、動脈硬化や血圧測定などの健康チェック、試食コーナーや相談コーナー、コーヒーや抹茶などが楽しめる喫茶コーナーを設けました。



当日、富山短期大学と井波高校の生徒さんが、ボランティアスタッフとしてご協力くださり、円滑に運営することができました。ありがとうございました

第7回ふくの若葉病院ミニコンサート

8月5日(水)1階エントランスホールにてミニコンサートを開催しました。今回は、北川敏美さん(母)と北川綾乃さん(娘)の母娘による琴の演奏会でした。

プログラムは「都踊」「数え唄変奏曲」「さくらによる主題と変奏」「ふるさと」の4曲で、都踊では娘さんが三味線の演奏も披露してくださいました。琴や三味線の音色は、日本人にとって馴染みやすく、懐かしさを感じさせてくれる音色ですが、なかなか生演奏を聴く機会がありません。入院患者さんから、「とっても素敵な音色やったね お母さんも娘さんも本当に上手やわ」などの感想が寄せられました。



敬老会

9月10日(水)各階病棟において『敬老会』が開催されました。当日は、柳原さんと中嶋さんの唄、宮本さんと中嶋さんの三味線による民謡「むぎや節」「四ツ竹節」など4曲を、そして、城華(じょうか)の皆さんが「こきりこ節」などのメロディーにあわせて、躍動感あるリズムカルなよさこいの舞を披露してくださいました。入院患者さんは「素敵な歌声と音色やったよ リズムに合わせた踊りはすごい！！」など喜んでおられました。



編集後記 新型インフルエンザが流行しています。発熱や咳のある方は来院をご遠慮ください。当院への新型インフルエンザの持ち込み防止のため、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。当院ホームページに、各種委員会及びプロジェクトチームの取組みについて掲載されていますので、興味がありましたら一度見ていただくと嬉しいです。

日本医療機能評価機構認定療養病院

医療法人社団 良俊会 [診療時間] 午前9時～12時

午後1時～4時

ふくの若葉病院 [休診日] 土・日・祝日

南砺市苗島367番地 TEL 23-1011 FAX 23-1020

ホームページ <http://www1.tst.ne.jp/wakaba/>

メール wakaba@p1.tst.ne.jp

